

町長室から

田上町長 佐野 恒雄

めっきり寒くなりました。「秋の日はつるべ落とし」と言いますが、秋の日の夕暮れの早さを、井戸の水を汲み上げる桶（おけ：つるべ）が滑車ですると勢いよく落ちていくのにとえたことわざだそうです。

先月の地域学習センター隣の竹林などで行われた「竹あかり」をご覧になられたでしょうか。予想以上の幻想的で素敵な世界に感動しました。テレビや新聞で紹介され、インスタグラム等のSNSでの投稿も多数あり、地域学習センター隣の竹林だけで、二万人以上の方が見に来られたようです。田上町商工会青年部の皆様の仕事が終わった後に集まって、幾日も掛けて作られたと聞きました。開催時の交通誘導等も大変だったと思います。青年部の皆様、ありがとうございます。予想以上の来場者で近くの住民の皆様にはご迷惑をおかけしたのではないかと思っております。

さて、十月二十三日には「新潟県・田上町総合防災訓練」を実施しました。当日は、八時三十分田上町で震度6強の地震が発生したと想定して、防災行政無線等での「シエイクアウト訓練」や、小中学校三校の体育館に避難所を開設、防災士や地域の皆様が感染症対策を含めたパーテーションの設置訓練等に取り組みました。

役場周辺では、防災用各種機材の展示や体験、土砂に埋まった車からの救助・搬送訓練を実施し、消防車・救急車・救助犬等が活躍しました。また、交流会館の屋上にヘリコプターからロープで降りた救助隊員が、けが人を担架に乗せて再びロープでヘリコプターに収容して搬送する、迫力ある訓練を間近で見られることもできました。交流会館多目的ホールでは、田上中学校の三年生が津南中等学校の生徒との防災交流会で学んだことや、全員で取り組んだ防災小説を発表しました。

子どもたちの未来のために、今回の総合訓練で得た成果と課題を今後の田上町の防災に生かしてまいります。

最後に、約千人の防災関係機関の皆様、避難訓練に参加いただいた約四百人の地域の皆様、シエイクアウト訓練に参加いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。